

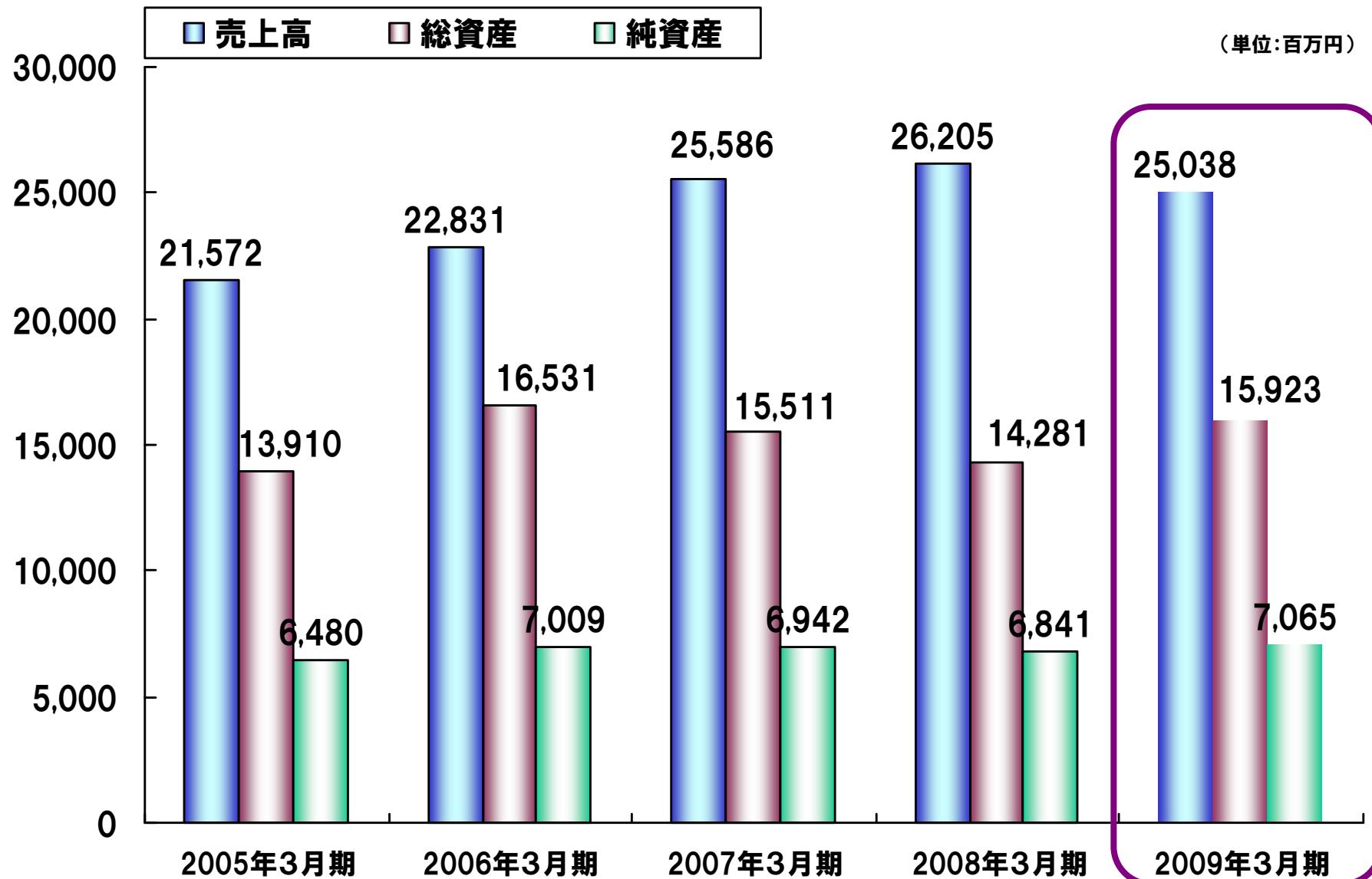
2009年3月期 決算説明会 補足資料



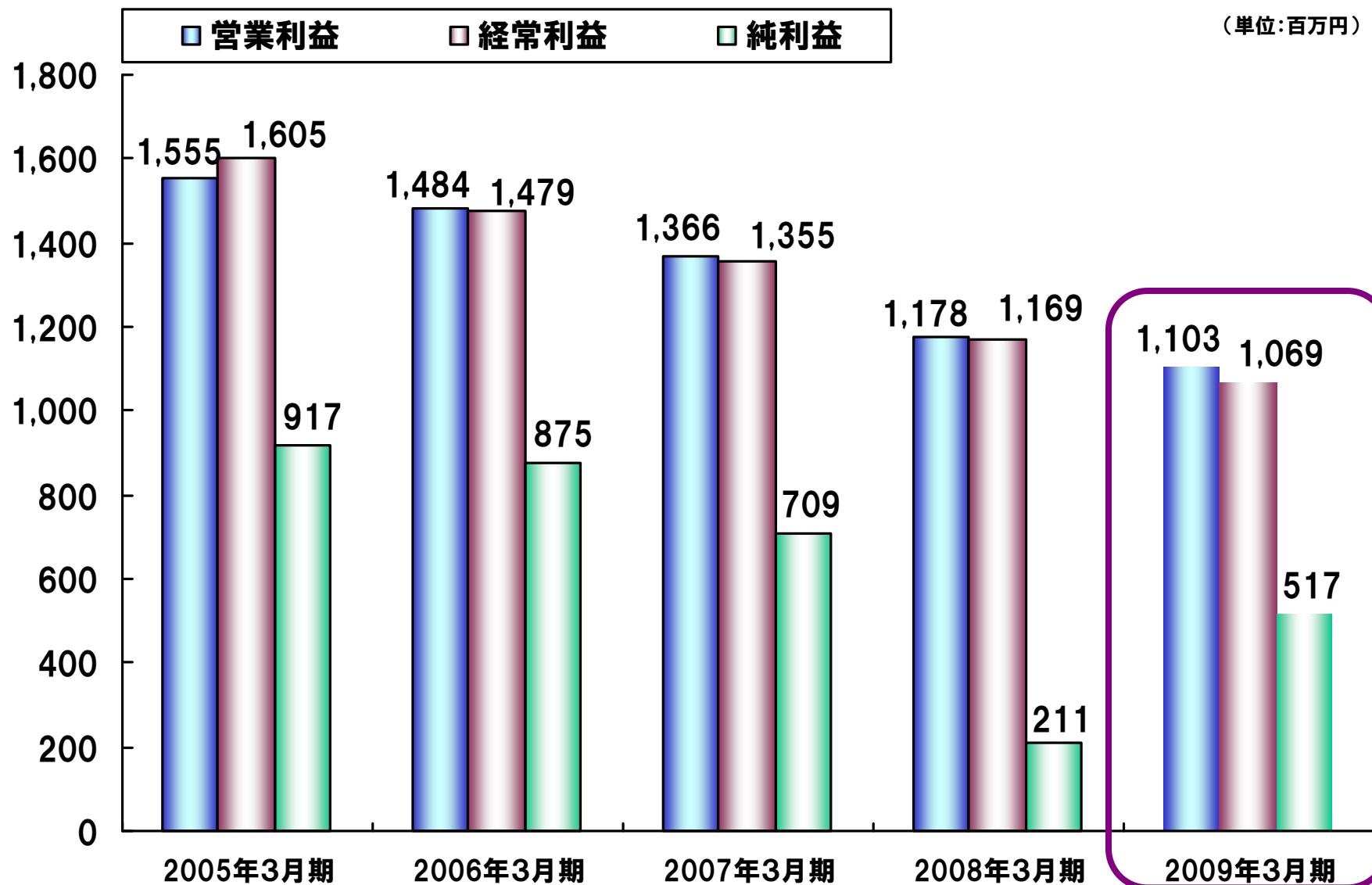
【証券コード:2359】
<http://www.core.co.jp>

経営指標トレンド

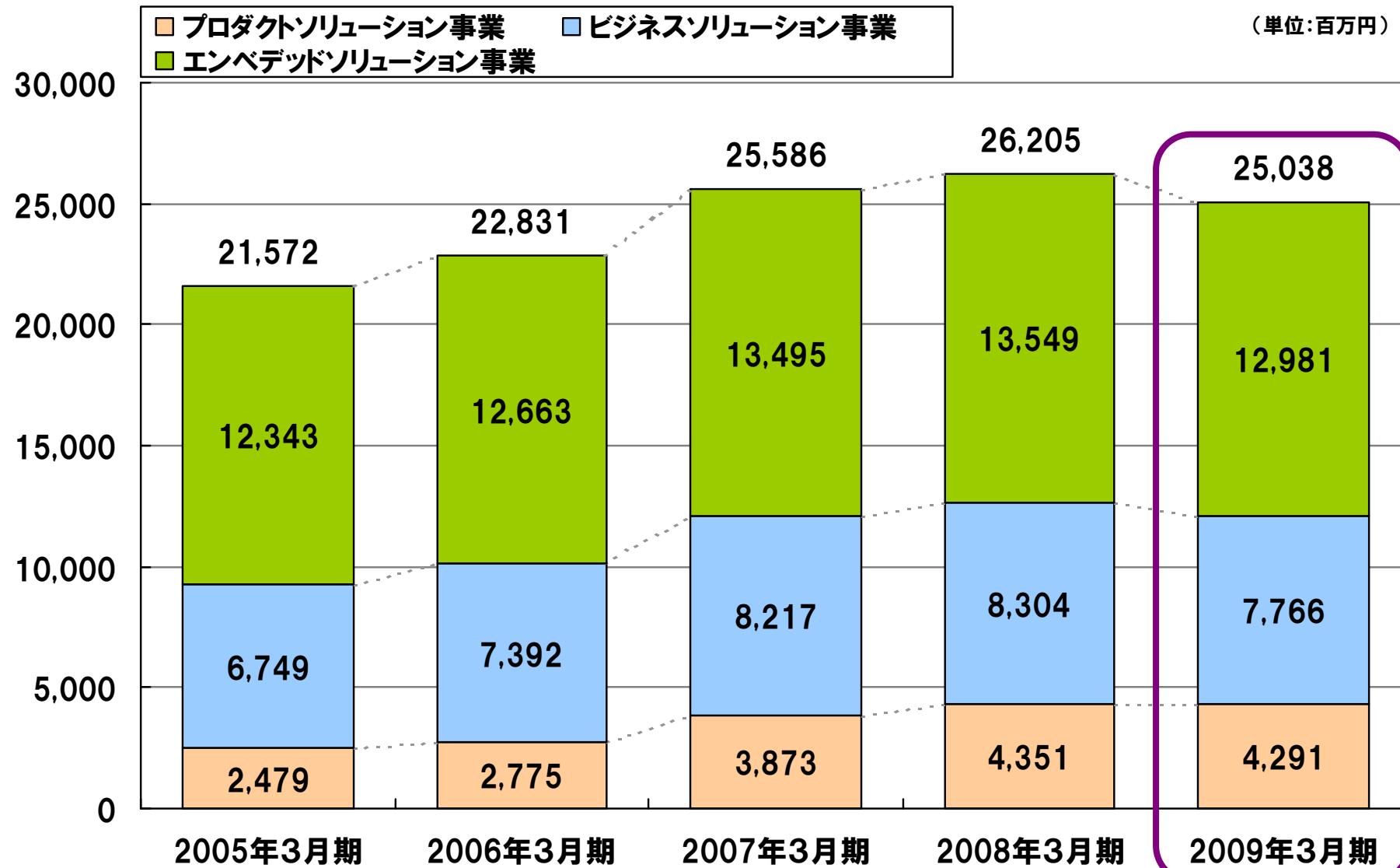
連結経営指標（売上高・総資産・純資産推移）



連結経営指標（営業利益・経常利益・純利益推移）



連結経営指標（セグメント別売上高の推移）



コアグループのご紹介

コアグループの概要

子会社 13社 (うち連結対象子会社 8社)

関連会社 7社

株式会社ギガ

コアネットインターナショナル株式会社

コア興産株式会社

株式会社プロネット

株式会社ラムダシステムズ

アンサー・アンド・コンサルティング株式会社

株式会社医療福祉工学研究所

株式会社システムプランニング

株式会社シーズ

株式会社アクティブ・ブレインズ・トラスト

株式会社アコード・システム

(注) ● : 子会社

○ : 関連会社

株式会社 コア

エンベデッドソリューションカンパニー／ビジネスソリューションカンパニー／プロダクトソリューションカンパニー／北海道カンパニー／東関東カンパニー／中部カンパニー／関西カンパニー／中四国カンパニー／九州カンパニー／コア総合研究所

【アライアンスパートナー】

【国内・海外開発協力パートナー】

【出資先各社】

北京核心軟件有限公司

上海核心信息技術有限公司

※1

協立システム開発株式会社

ケイ・エヌ情報システム株式会社

株式会社古河市情報センター

株式会社システムクリエイティブ

※3

株式会社ダイセック

株式会社東北情報センター

※3

北京吉利科電子工程有限公司

※3

※1:持分法適用非連結子会社 ※2:持分法非適用非連結子会社 ※3:持分法非適用関連会社

※4:2009年4月1日付で当該連結会社の役員を除く全社員は株式会社コアに転籍しております。

コアグループの主な特徴

独立系・全国ネットの技術者集団

- 独立系として真に顧客本位な情報サービスを提供
- 全国(国内・海外)39拠点体制で全国をカバー
- 地域密着型のビジネス展開

(地場企業との取引比率:93%) (07/3月期連結ベース)

全方位・一貫サービスを提供

- ICT分野の上流から下流までの一貫サービス、業種・業務別ノウハウによる全方位ソリューションを提供

グローバル開発体制で事業推進

- 中国2法人を軸に、グローバル開発体制で事業を推進

強力な特化技術を保有

- 組込みソフトウェア(エンベデッドソフトウェア)など強力な特化技術を保有し、『エンベデッドのコア』を形成

安定的な経営体质 (優良顧客との取引実績)

- 顧客数約800社、1億円以上の取引先58社、5千万円以上の取引先38社と安定的な経営体制

(09/3月期連結ベース)

特徴あるグループ会社構成

- (株)コアを中心とした主力のソフトウェア開発に加え、電子テロップ製造販売、ファブレス製品開発会社など、特徴あるグループ会社群を形成

コアグループ・ネットワーク

全国・海外39拠点のグループ・ネットワークで事業展開

(子会社・関連会社含む)

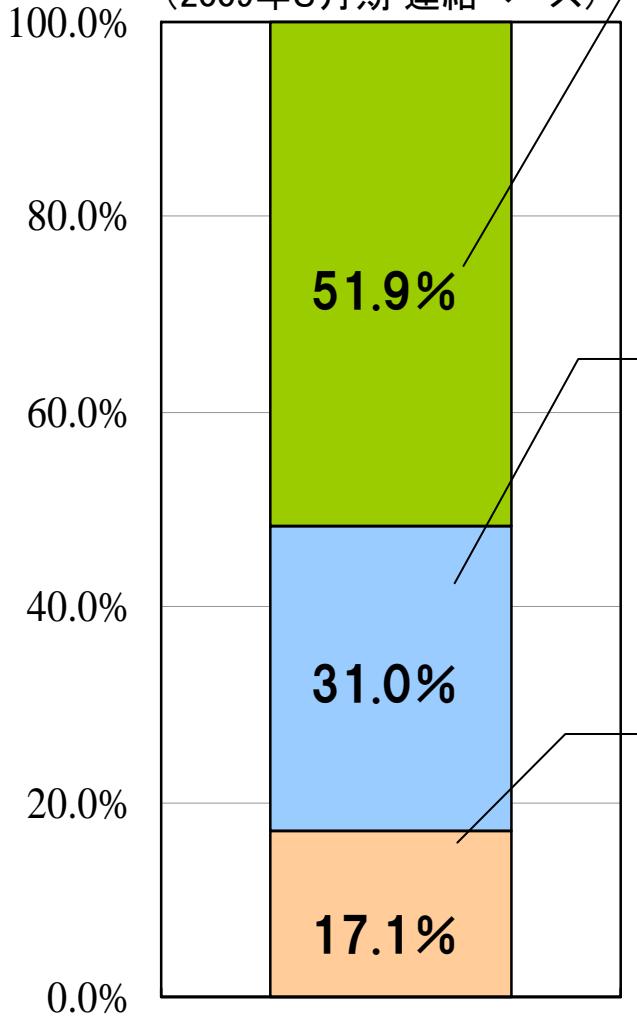
● コアグループ主要拠点 (コア拠点・海外主要拠点)



主要3事業の概要(セグメント別事業概要)

セグメント別売上高構成比

(2009年3月期 連結ベース)



エンベデッドソリューション事業

車載製品・情報家電・携帯電話などに搭載し、機器を制御するエンベデッドソフトウェア・システム開発を中心とした事業を開拓しています。

ビジネスソリューション事業

幅広い業種・業務ノウハウで、金融から製造・流通・公共・Web関連まで、業務アプリケーション開発、SIサービス等の事業を開拓しています。

プロダクトソリューション事業

ソフトウェア・ハードウェアの技術力をベースに、自社製品の開発・販売、カスタマイズ・保守サービス等を行っています。

主要3事業の変遷

世界初のマイコン
(インテル4004)登場



エンベデッドシステム
開発事業開始 (1973年)

ハードウェア開発
事業開始 (1974年)

ソフト／ハード／ファーム
ウェア技術で「エンベデッド
システム」事業拡大へ
(マイコン技術のデパート化)

海外展開開始
(1984年)
海外拠点を活用した
「グローバル化」推進

GPSチップ開発開始
(2005年)
IPビジネス
(2008年)

エンベデッド
ソリューション事業

ハードとソフトの分離
(アンバンドル化)スタート



ソフト開発事業開始
(1969年)

バンキングシステム開発
事業開始 (1974年)

金融業界から製造／
流通／公共等への
「全方位展開」推進

VAN (アウトソーシング)
事業開始 (1984年)
ドットコム事業本格
推進 (2000年)

デザスタ－
リカバリー
ビジネス
(2007年)

ビジネス
ソリューション事業

ハードとソフトの総合
技術で製品事業を展開

LANDesk製品販売
開始 (1999年)

資産管理システム
(ITAM) 販売開始
(2000年)

インベントリ収集
ツール (ITAMScan)
販売開始 (2003年)

グリーンITソリュー
ション販売開始
(2008年)

プロダクト
ソリューション事業

環境分析製品 (LA製品)
販売開始 (1982年)

Web対応e-OpenPDM
販売開始 (2002年)

電子テロップ事業
(2006年)

製品データ管理システム
(PDM製品) 販売開始
(1992年)

DBツール、pd@gent、
e-水質販売開始
(2003年)

行動分析ソリューション
販売開始 (2006年)



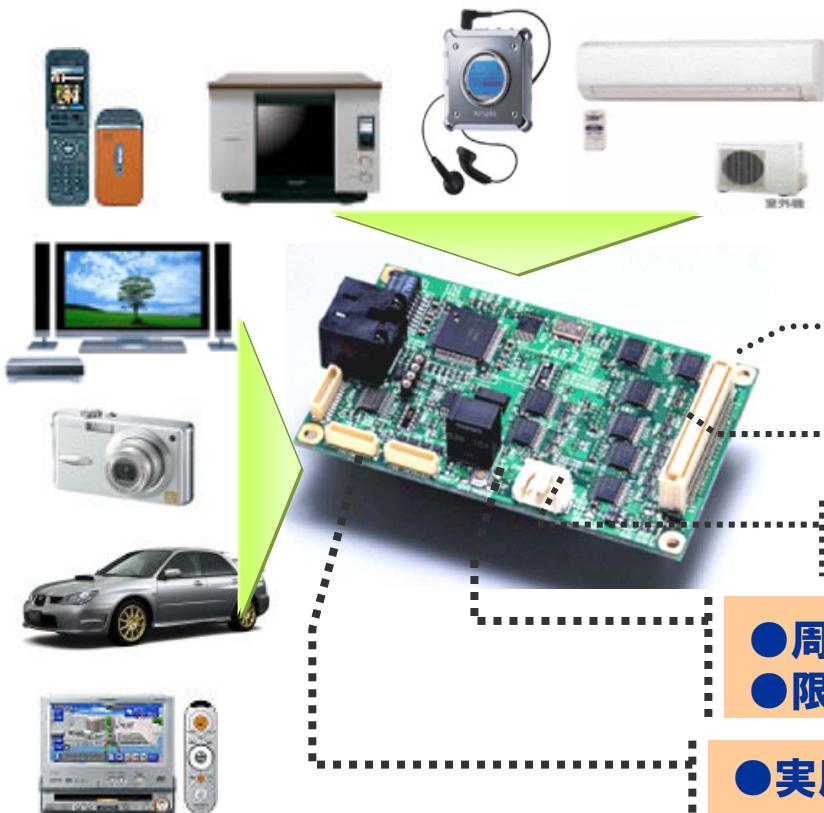
ご紹介

組込みソフトウェア動向
コアグループの取り組み

組込みソフトウェアとは？

組込み(エンベデッド)技術

情報家電、携帯電話、自動車など、限られた製品仕様の中で、製品全体や内部のマイクロコンピュータ、外部機器等をソフトウェアで制御する技術。



製品の機能・性能を左右する”心臓部”。電子機器のほとんどに組込みソフトウェアが内蔵！

[主な技術要素]

●回路等の仕様に合わせたプログラミング技術

●諸操作のリアルタイム制御、割込み処理などの技術

●各製品固有のノウハウやツール(道具)の活用技術

●周辺機器や操作の異常に対する処理機能の組込み技術

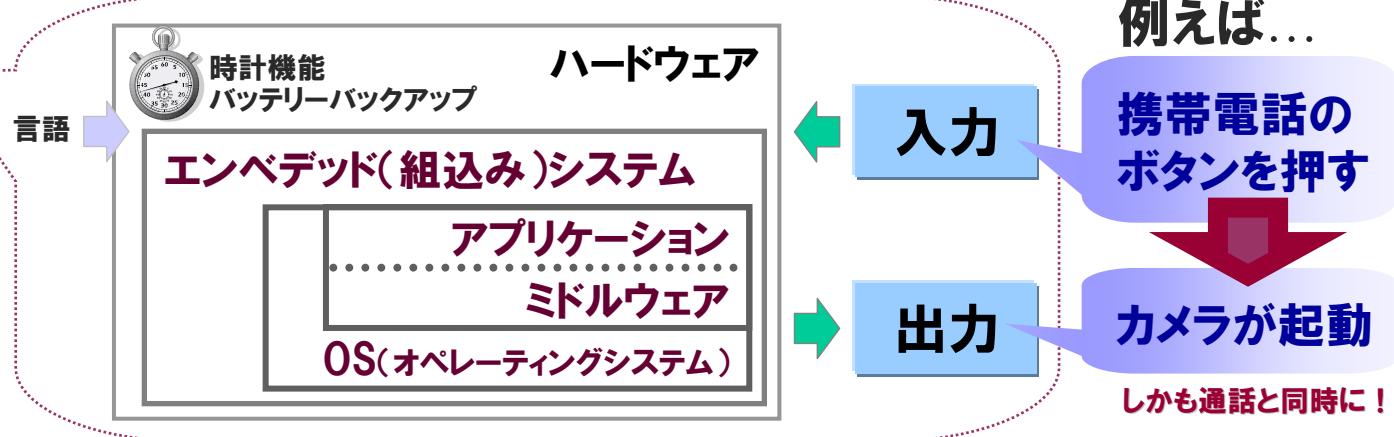
●限られた仕様、大きさ、消費電力の範囲での処理の確保

●実用テストや不具合の確認など、経験からのノウハウ

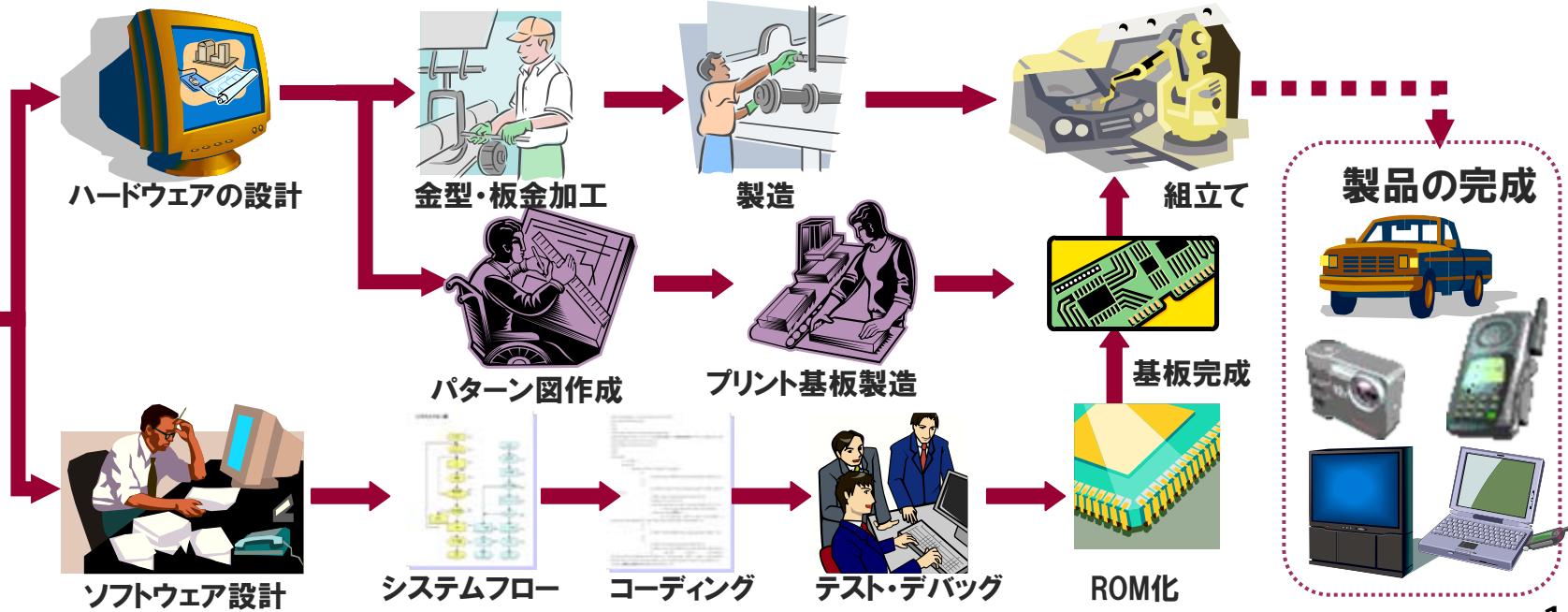
組込みソフトウェア開発の流れ



製品企画(基本設計)



仕様の決定



組込みソフトウェア開発の特徴

【組込みソフトウェアの開発の特徴】

メモリ容量や消費電力などの制約がある環境下で、リアルタイムな処理が要求されるという、2つの条件を満たす必要がある。



- ハードウェア(製品、機器)の特徴やクセを熟知している
- 新製品開発などに付加される新しい技術・機能に即時対応できる
- 小型・省電力などの制約条件下での高度なプログラミングと応用ができる



組込みソフトウェア特有の知識や設計思考、ノウハウなどが必要となり、パソコンやサーバの業務アプリケーションなどの開発を行っているビジネス系の技術者が、組込みソフトウェア開発へと転換することは容易ではない。

組込みソフトウェア産業動向－①

組込み関連産業市場（平成18年度）

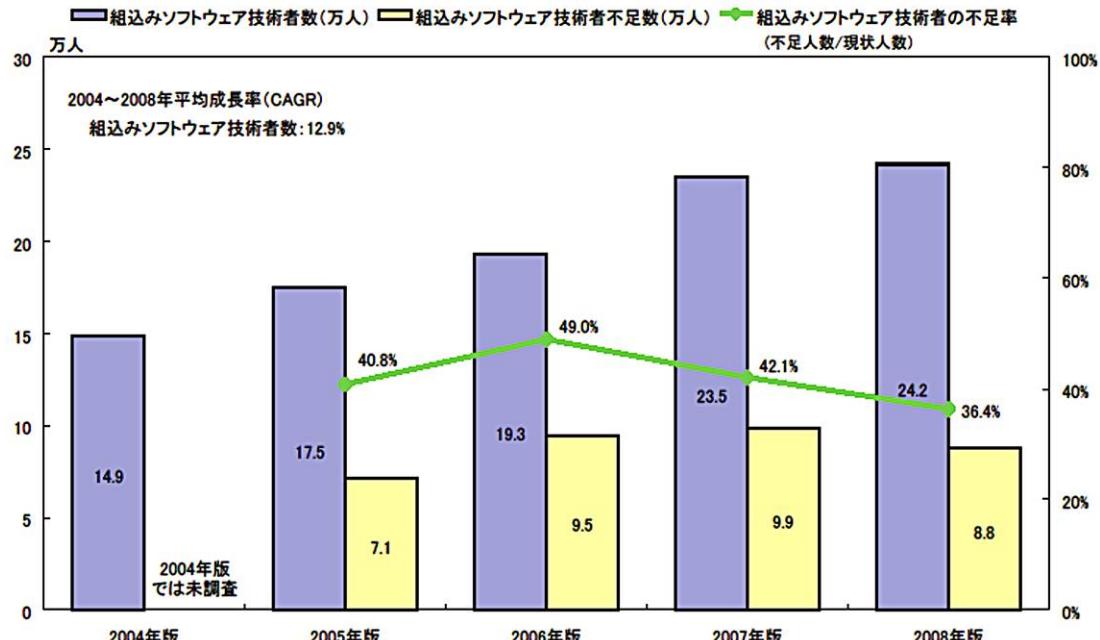
全産業従事者	5,863万人
製造業全体従事者	992万人（全産業比率: 8.1%）
組込み関連従事者	472万人（注）（製造業比率: 47.9%）
<hr/>	
国内総生産	508.9兆円
組込み製品生産高	66.7兆円
国内総生産比率	13.1%



組込みソフトウェア産業市場

組込み製品開発費総額	8.3兆円
組込みソフトウェア開発費	3.5兆円
組込みソフトウェア開発費比率	42.4%
<hr/>	
組込みソフトウェア技術者	24.2万人
対組込み関連従業者比率	5.1%
不足する組込み技術者数	8.8万人

組込みソフトウェア技術者数の推移(現状人数と不足人数)



(注)組込み関連産業の業種の定義

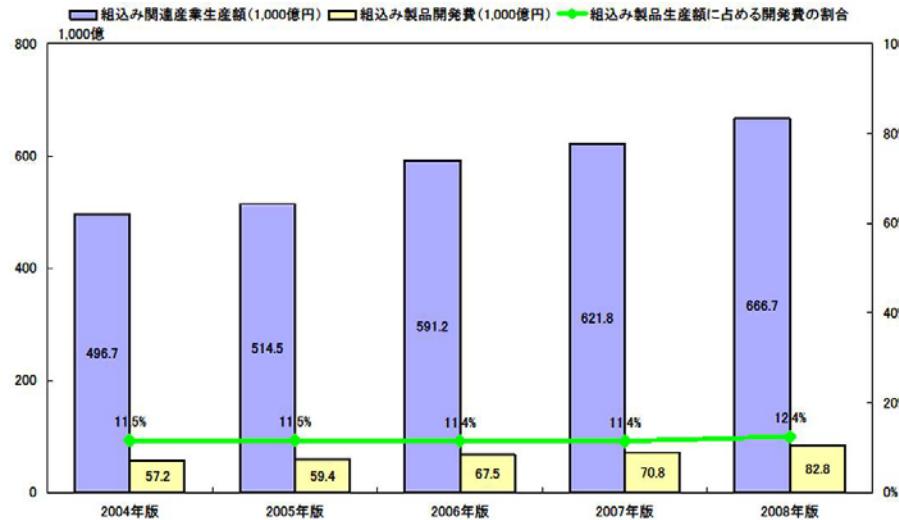
<製造業>一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、など

<情報通信業>ソフトウェア業

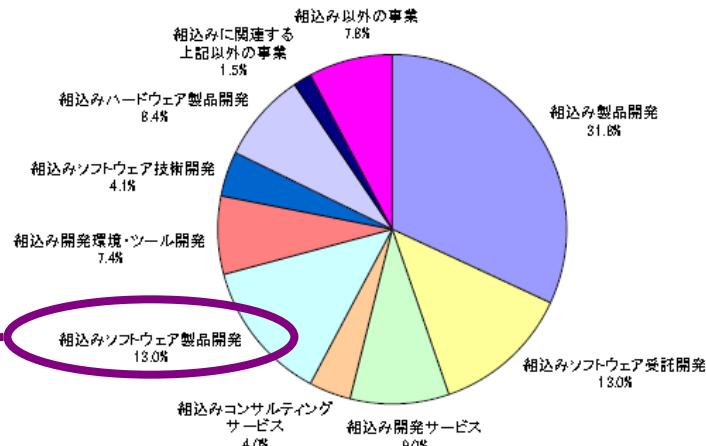
出典 経済産業省「2008年版組込みソフトウェア産業実態調査」

組込みソフトウェア産業動向－②

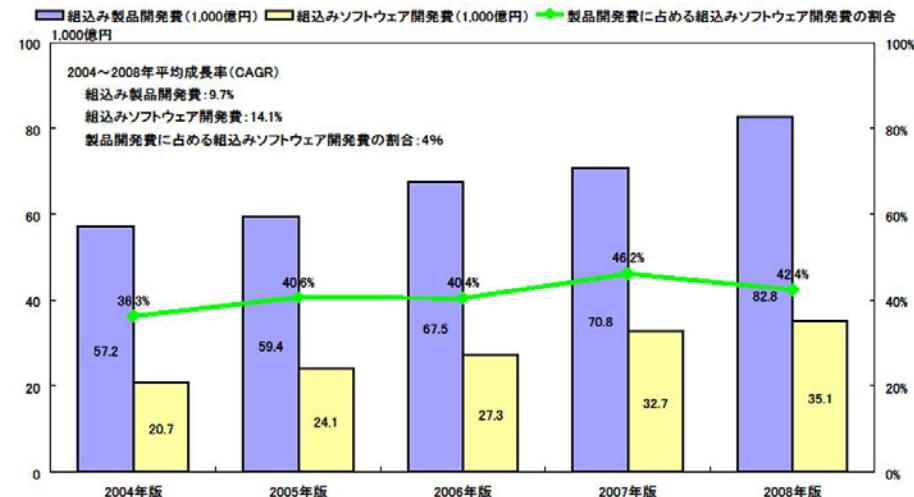
組込み関連産業生産額と組込み製品開発費の推移 (組込み製品生産額に占める開発費の割合)



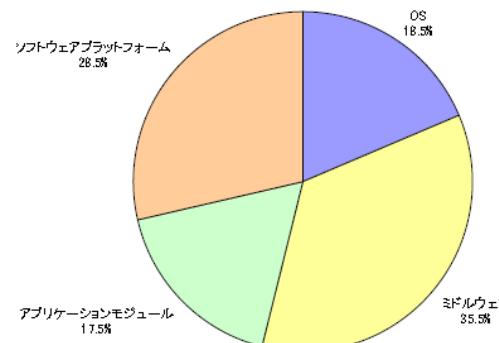
組込みソフトウェアの事業ドメイン構成



組込み製品開発費と組込みソフトウェア開発費の推移



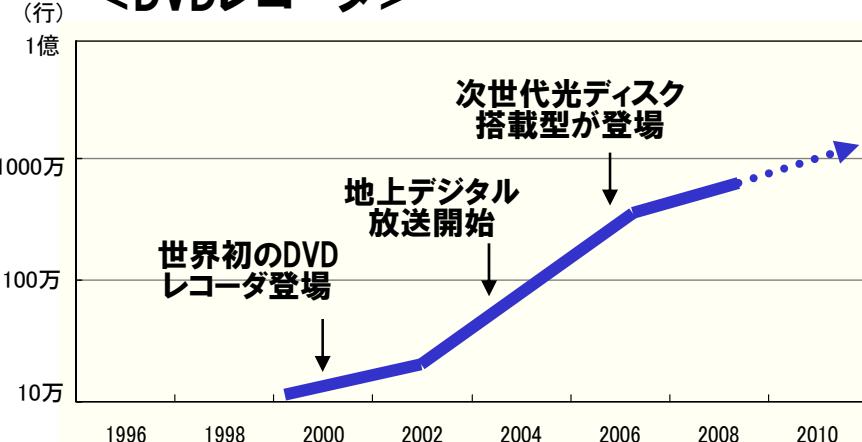
組込みソフトウェア製品開発の構成要素



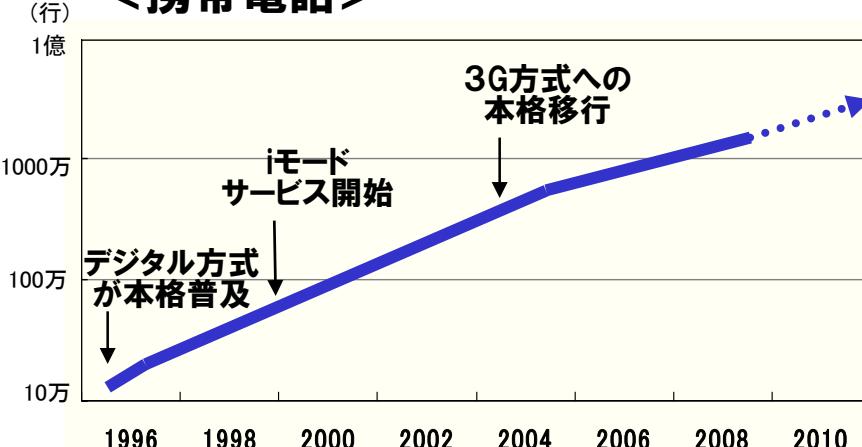
出典 経済産業省「2008年版組込みソフトウェア産業実態調査」

拡大する組込みソフト開発量の推移

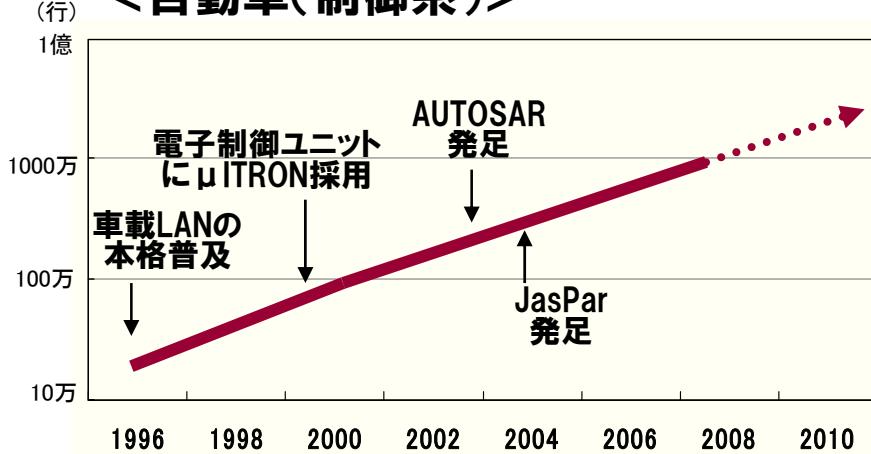
<DVDレコーダ>



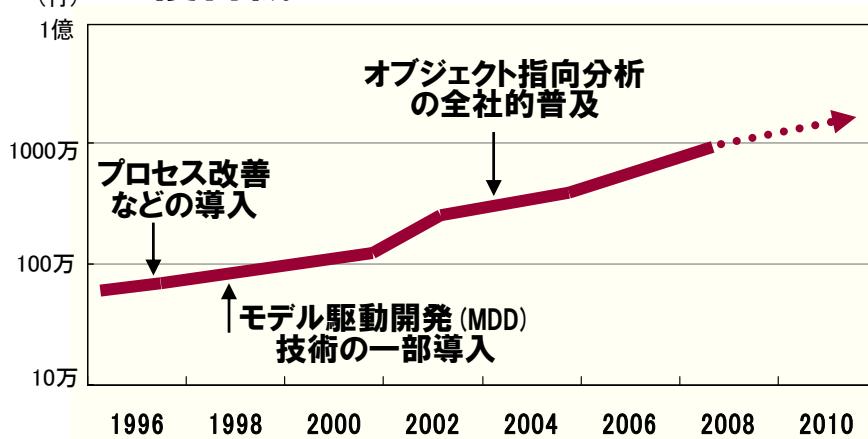
<携帯電話>



<自動車(制御系)>

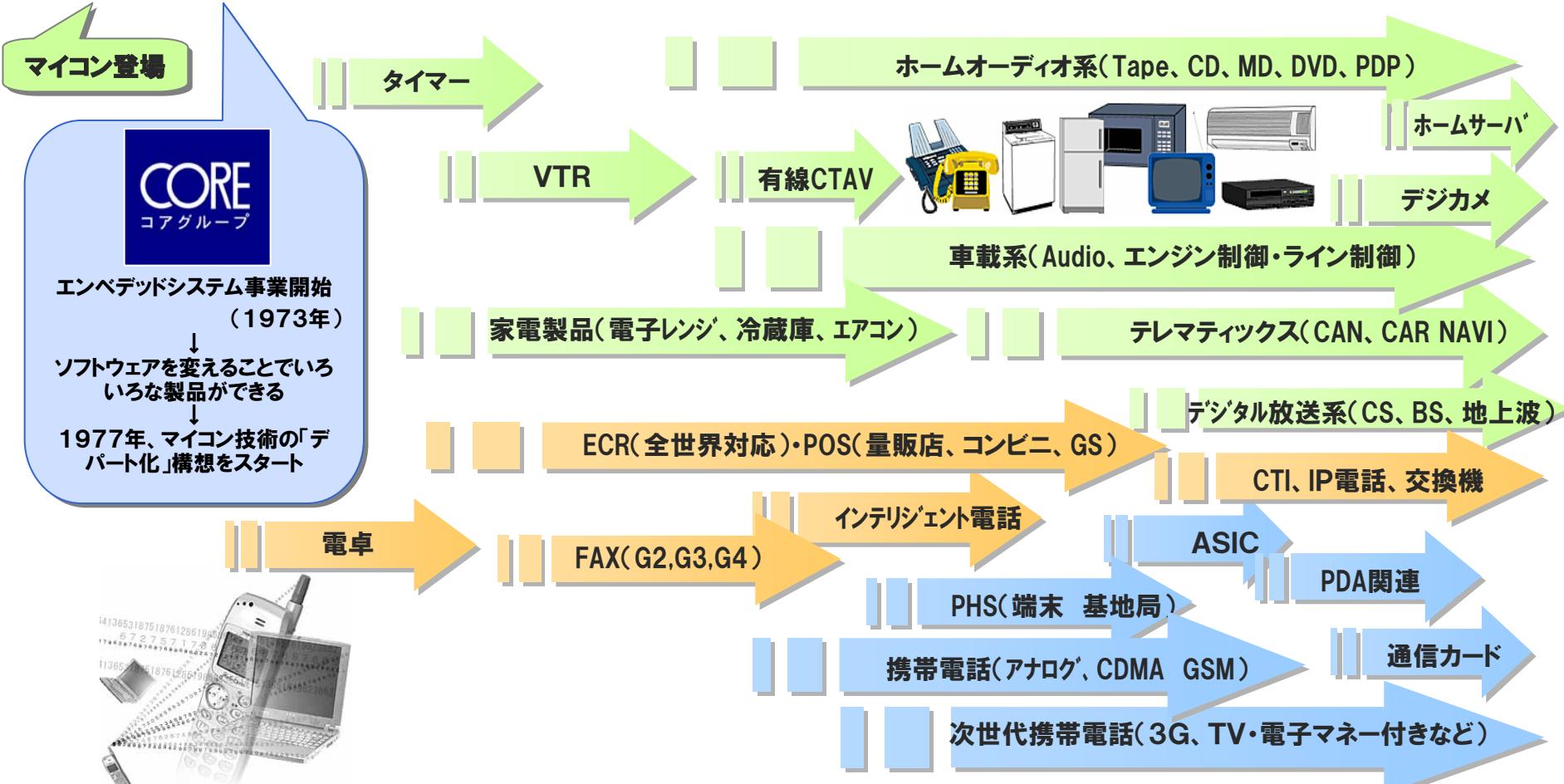


<複合機>



組込みソフトウェア開発の歩み

1971 | 1973 | 1977 | 1980 | 1983 | 1986 | 1989 | 1992 | 1995 | 1998 | 2001 | 2004 | 2007~



組込みソフトウェア開発には、ソフト・ハードの総合的な技術力が欠かせません。
コアグループは35年超の開発実績と経験を有するリーディングカンパニーです。

高機能化する組込みOSへの技術戦略

組込みソフトウェア

コンテンツ

アプリケーション

ミドルウェア

OS

ハードウェア

ネットワーク化することで、

ゲーム、音楽、
画像、電子図書 etc

比較的、他社が参入し
易い領域での競争激化

ドライバー等の
ミドルウェアは
標準化が困難!!

コアの
強み

強化!

加速する共通プラットフォーム化に対応

制御装置
T-Engine

カーナビ
Windows
Automotive

情報家電
Linux

携帯電話
Symbian
Android

etc

組込みソフトウェア + ネットワーク化
= OSの高機能化と標準化

画像処理技術への取り組み・製品連携

画像処理技術の動向

- ↓ 組込み機器はメモリが小さい
- ↓ 小さく圧縮する技術が進展
- ↙ ポータビリティを実現する！



独自の画像圧縮方式

WAVELET を開発

現在の画像圧縮の標準規格



JPEG2000 に同方式が採用

- 高解像度画像の高圧縮・復元
- 電子透かし技術(特許取得済み)

ラムダシステムズ社

電子テロップシステムとの製品連携を推進



【その他応用分野】

- 携帯電話カメラ
監視カメラ パチンコ
デジタルカメラ、等

カプセル内視鏡



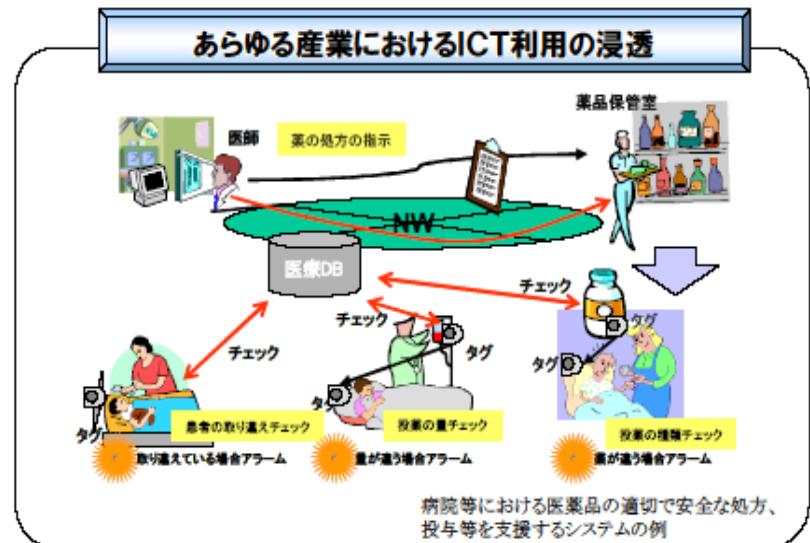
【特徴】

- これまで2Dを3Dらしく変換して表示していた ⇒ 完全3Dで表示！
- お客様への説明を3D画像で！
- 現実に近いものをバーチャル表示

画像出典: SONY、Witness、OLYMPUS

携帯電話への非接触認証技術応用

無線ICタグへの応用



非接触型ICカードへの応用



⇒ 通話機能以外の、高付加価値機能の開発が要求される！



コアは殆どのメーカー機種を開発 ⇒

組込み技術とビジネス系技術を統合した事業推進

自動車のIT化、車載製品高度化を推進



急進する新需要

ハイブリット制御等の環境対応へのIT利用

操作パネルの電子化



安全制御のIT化

計器類の電子化



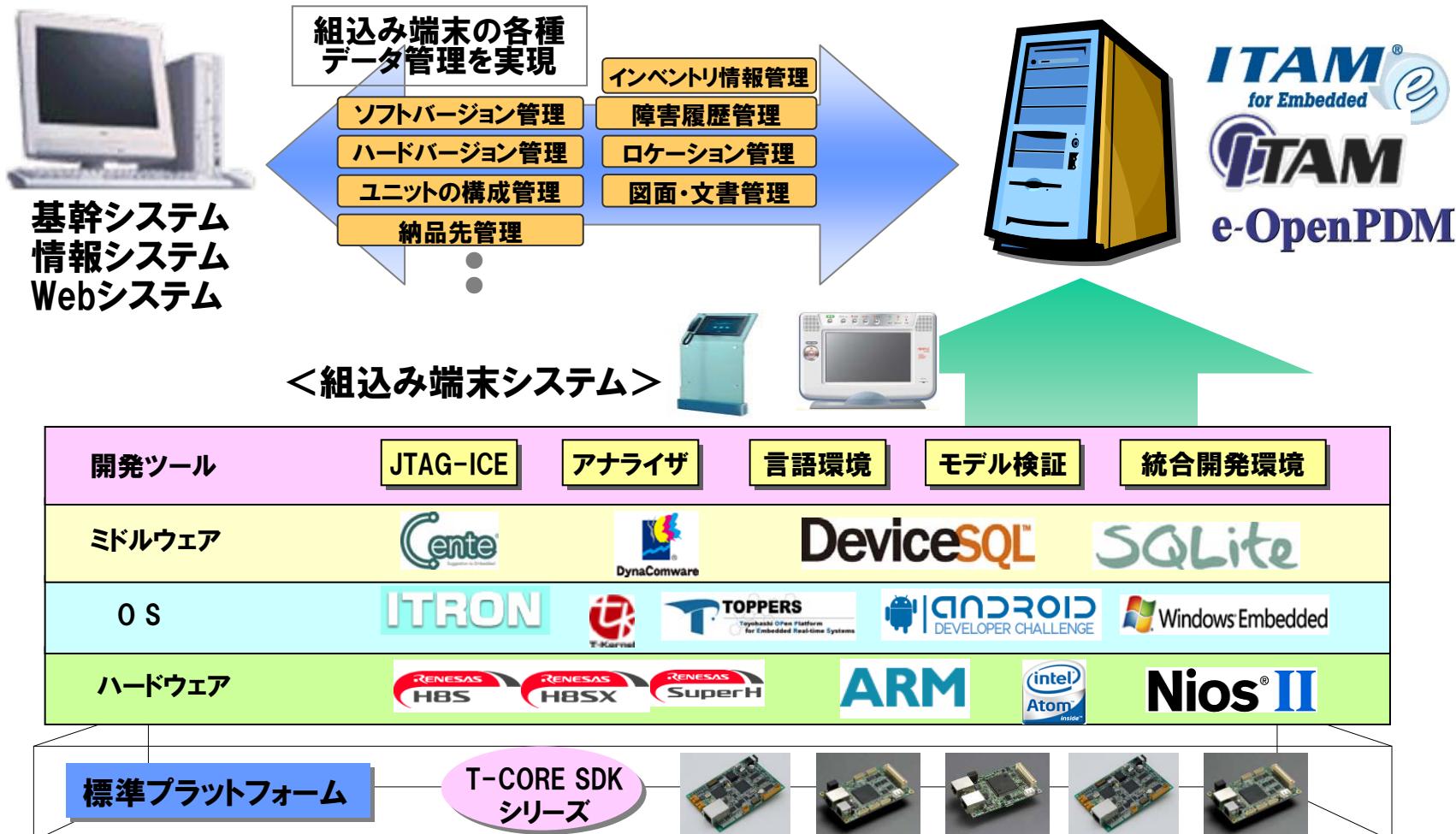
- ⇒ 次世代カーナビ開発
- ⇒ テレマティクス製品開発 etc

- ⇒ エンジン制御
- ⇒ 駆動制御
- ⇒ 操舵制御 etc



ビジネス系・プロダクト系との連携を推進

ITAM・PLM製品による「組込み機器管理システム」への応用例



ありがとうございました。

.....

お問い合わせ 社長室 室長 新 幸彦 (y-shin@core.co.jp)
経営管理・IR担当 金城 広 (kanegon@core.co.jp)

〒154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル
TEL. 03-3795-5111 FAX .03-3795-5102



私たちコアグループは、大切な地球環境を守っていくため、社員1人ひとりの意識向上や取り組み姿勢を「e-Core」マークに込め、様々な活動を行っております。